

クロム活用シート

6年 算数科

1. 単元名『およその形と大きさ』
2. 本時の評価規準
メートル法の単位の接頭語の意味を確認し、理解している。【知識・技能】
3. 指導計画

| | 学習活動 | ICT 活用場面 |
|----|--|--|
| 導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきた量を表すときに用いる単位にどのようなものがあったのか思い出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> これまでに学習してきた単位について思い出そう </div> | A1 既習の単位が想起しやすいようにイラストを提示した。 |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは自分でこれまでに学習してきた単位を思い出し、ノートに分類しながら整理する。 ・単位にはどのような関係があるのか考える。 C: 体積・面積・かさ・重さ・時間には単位がある。 C: 平方や立法は2回かけたり3回かけたりする意味があった。kがあると1000倍だった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアや班で学習してきた単位について確認するとともに、関係性について話し合う。 ・k(キロ) h(ヘクト) da(デカ) d(デシ) m(ミリ)の意味を話し合いながら確認する。 | B2 インターネットを用いて、調べている面積や体積が身の回りのものかどのようなものがあるのか調べる。 |
| 終末 | <ul style="list-style-type: none"> ・単位の関係性についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 単位の前にk(キロ)が付くと1000倍・h(ヘクト)が付くと100倍・da(デカ)が付くと10倍になる。また、d(デシ)が付くと1/10倍・m(ミリ)が付くと1/1000倍になる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・カフトで確認問題を解く。 | C2 本時に学習したことをカフトでテスト形式で確認し、全体の意見や考えを交流する。 |

4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

| | | | |
|---|--------|---|-----------------------|
| I | 知識及び技能 | 2 | 問題解決・探究における情報活用の方法と理解 |
| | | ① | 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 |
| | | f | 複数の観点から情報の傾向と変化を捉える方法 |

A1 教師による教材の提示

使用するアプリ等 「Google スライド」

| | 活用の流れ |
|---|--|
| ① | イラストを手掛かりに、どのような単位を学習してきたのか想起させる。また、面積や体積は公式も確認し、学習の手助けになるようにした。 |



C2 協働での意見整理

使用するアプリ等 「Kahoot!」

| | 活用の流れ |
|---|--|
| ① | 本時のまとめを書いた児童からカフトにログインし、全員が揃うまでノートや教科書を見て復習して待つ。 |
| ② | 発展問題は点数を2倍にしたり、選択肢を増やしたりすることで本時の学習をゲームを通して確認する。 |



活用の効果

本時の学習は、小学校で学習する単位を思い出し、その関係性について見出す時間であった。様々な単位や〇〇の□倍、k(キロ)/・da(デカ)などの単位の前に付く文字の特徴など複雑なものがとても多く、苦手意識をもっている。カフトで意欲付けることで、授業内にしっかりと覚えようとする姿勢が見られ、苦手な児童でも楽しみながら学習・練習問題に取り組むことができた。